

## 三重大学国際交流センター紀要 [投稿規定]

2012年6月6日改定  
国際交流センター紀要編集委員会

1. (名称及び目的)  
本紀要の名称は『三重大学国際交流センター紀要』とし、主に三重大学や地域社会において、国際教育、研究及び国際交流に携わる者に、研究論文、研究ノート、調査報告、実践報告、書評等を発表する場を提供することを目的とする。
2. (編集委員会)  
三重大学国際交流センター内に、三重大学国際交流センター紀要編集委員会（以下、編集委員会）を置く。編集委員会は、三重大学国際交流センターの専任教員1名と学部選出の委員1名（いずれも任期1年）によって構成され、内1名を編集委員長とする。
3. (投稿資格)  
本紀要への投稿資格は、三重大学に勤務する専任教員あるいは非常勤教員であることを原則とする。但し、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。
4. (原稿規定枚数)  
原稿の枚数は、研究論文、研究ノート、調査報告、実践報告については、原則として13枚（1枚＝40字×32行、ただし20%の増減を認める）、書評については3枚以上9枚以内とする。図表、写真等も規定枚数内に含める。
5. (使用言語)  
本紀要に掲載する研究論文、研究ノート、調査報告、実践報告、書評等は、日本語または英語で執筆したものとする。執筆の詳細は「執筆要領」に別途定める。
6. (研究論文の採否)  
研究論文については、査読を行った上で編集委員会が採否を決定し、投稿者に採否の決定を通知する。研究論文以外のものについては査読をしない。
7. (論文等の公開)  
掲載された研究論文等は、原則として電子化し、コンピュータ・ネットワーク上に公開する。

## 三重大学国際交流センター紀要 [執筆要領]

2011年6月15日改定  
国際交流センター紀要編集委員会

1. 原稿は、A4用紙を使用し、マイクロソフト・ワードで作成する。  
[和文の場合] 1頁：一行40字×32行  
[英文の場合] 1頁：32行（行数のみ指定・1行の文字数は指定しない）  
[ページ余白]（和文・英文とも）上下左右30mm
2. 注は、(1)(2)(3)のように本文中に通し番号を付け、脚注または後注とする。
3. 引用・参考文献は、著者名又は論文執筆者名、(当該著書刊行年又は論文発表年)、書名または論文名、出版社又は当該論文発表誌名、巻数及び頁数を記す。  
【例】山田祐二(1995)『日本論』河人社  
山本幸夫(1996)「日本の民間習俗」『〇〇大学紀要』vol. 21、pp. 30-42.  
Riggs, Fred W. 1966) *Thailand: The Modernization of a Bureaucratic Polity*.  
Honolulu, HI: East-West Center Press.  
Psathas, G. (1986) The organization of directions in interaction, *Word*, 37 (2),  
pp. 54-66.
4. 原稿は、次の順序で執筆する。  
[和文の場合]
  - ①論文名と執筆者名（日本語）
  - ②論文名と執筆者名（英語又はその他の言語）
  - ③要旨（英語又はその他の言語で200語以内）
  - ④キーワード（日本語で5語以内）
  - ⑤本文
  - ⑥後注
  - ⑦引用・参考文献  
[英文の場合]
  - ①論文名と執筆者名（英語）
  - ②要旨（日本語で400字以内）
  - ③キーワード（英語で5語以内）
  - ④本文
  - ⑤後注
  - ⑥引用・参考文献
5. 執筆者は、次のものを期限までに提出する。
  - ①打ち出し原稿（A4用紙に印字）
  - ②原稿の電子ファイルを記録したUSBメモリー・スティック  
（USBメモリーには執筆者名を記し、ファイル名は「論文名+執筆者名」とする）
6. 校正は、執筆者本人が再校まで行う。校正段階での内容の変更は認めない。